

第4号様式

指定管理業務評価表

施設名	富士見市立中央図書館・富士見市立図書館ふじみ野分館	令和4年度	事業報告
指定管理者名	TRC・キラ財団グループ		
指定期間	令和2年4月1日～令和7年3月31日	所管課	教育部 生涯学習課

自己評価…指定管理者 所管評価…市(施設所管課)

個別評価項目	確認基準	自己評価	所管評価	施設所管課評価意見	
1 業務の実施体制	人員体制	安定的な運営のための人員を配置している。	A	A	
		必要な資格や経験を有する人員が配置されている。	A	A	
		責任者(代理する者)が施設に常駐している。	A	A	
	職員の対応等	仕事内容を十分に把握し、利用者対応を迅速かつ適正に行っている。	A	A	
		利用者の要望や苦情等に対して適切に対応している。	A	A	
		言葉遣い、態度、服装等接遇が適切である。	A	A	
	法令等の順守	法令、条例等に基づき管理運営を行っている。	A	A	
	個人情報保護・情報公開	個人情報保護及び情報公開に関する規程が整備され、適切に対応できる。基本協定書個人情報取扱特記事項を遵守している。	A	A	
安全・緊急対策	緊急時マニュアルの策定とそれに基づく訓練の実施、連絡・対応体制の整備ができています。	A	A		
報告書の提出	定期報告書等を期限内に提出している。	A	A		
2 業務の内容・水準	維持管理	清掃、警備、衛生管理を適切に行い、利用者が施設を快適に利用できる環境となっている。	A	A	
		施設・設備・図書館システムの保守管理を適切に行い、利用者が安全・快適に施設を利用できている。	A	A	
		修繕を適切に実施している。	A	A	
		備品台帳に基づき備品を適切に管理している。	A	A	
		外部委託の内容について、事前に市の承認を受けている。	A	A	
	事業運営	条例等の規定に基づき、開館日時を遵守している。	A	A	
		資料選定・受入業務が適切に行われている。	A	A	
		資料管理業務が適切に行われている。	A	A	
		窓口サービス業務が適切に行われている。	A	A	
		レファレンス業務が適切に行われている。	A	A	
		図書室・公共施設サービスが適切に行われている。	A	A	
		ホームページや広報紙等での広報活動が適切に行われている。	A	A	
		視聴覚ライブラリー業務が適切に行われている。	A	A	
		障がい奉仕業務が適切に行われている。	A	A	
		児童・YA向け事業が適切に行われている。	A	A	
		一般向け事業が適切に行われている。	A	A	
		提案事業が適切に行われ、利用者サービスの向上に寄与している。	A	A	
		地域、ボランティア、他機関との連携に努めている。	A	A	
利用者の要望	利用者の要望等の把握方法及び対応策は適切である。	A	A		
利用状況	利用者数、貸出点数等は、適切な水準にある。	A	A		
管理記録	業務日誌及び点検、修繕の履歴を適切に記録、整備、保管している。	A	A		
環境配慮	省エネ、ゴミの抑制、リサイクルの推進に努めている。	A	A		
3 収支等	収支の状況及び経理の処理が適正である。	A	A		
総合評価		A	A		
成果・課題等	(自己評価) 【成果】 ・ブックスタートについては、4種類から選んでいただけるようにしたことで、必ず2冊選んでいただけるようになった。 ・セカンドブック事業については、教科書で紹介されている昔から評価の高い本を選んでいるので、先生も含め大変喜ばれている。 ・ZOOMによる対面朗読を開始した。また、宅配サービスは、登録された方は継続して利用いただいている。 ・調べる学習コンクールについては、まだ地域コンクールは開催にいたっていないが、毎年、応募作品も増え、内容も充実してきている。 ・コロナ禍で実施できなかった、託児サービスを7月から開始することができた。 ・電子書籍については、令和5年度、6年度予算が付く予定なので、ライセンス切れになる資料を鑑み、選定していく。 ・市役所内の各課と連携して展示や講座、イベントの展開ができた。 【課題】 ・以前から準備していた、国立国会図書館のデジタル資料送信サービスを開始する。 ・渋谷定輔を含む郷土資料のデジタル化を進める。 ・令和5年度の新小学1年生より、ふわっぴーのデザイン入り図書館利用カードを使用開始し、7月からは一般利用者にも使用できるようにする。				
	(所管評価) 必要な感染対策を講じた上での図書館運営が行われ、昨年度までは中止となっていた多くの事業が再開された。3年ぶりに開催された「図書館まつり」では、市制施行50周年記念事業である「タイムカプセル開封・封入式」をはじめ様々な催しを企画し、多くの来館者があった。7月から開始された託児サービス「ふわふわキッズ」は、図書館の子育て支援事業として定着しつつある。また、ZOOMを使用した対面朗読サービスを開始し、活字による読書が困難な方へのサービスを拡充した。学校との連携としては、中学生のボランティアや職場体験の受入れなどの取組みが実施された。これらの年間状況から判断して総合評価はAとする。				

※評価区分

①	個別評価	AA(優良)＝協定書、仕様書等を遵守し、その水準よりも優れた管理運営内容である。
		A(良好)＝協定書、仕様書等を遵守し、その水準に沿った管理運営内容である。
↓		B(問題含)＝協定書、仕様書等を遵守しているが、管理運営内容の一部に問題がある。
		C(要改善)＝協定書、仕様書等を遵守しておらず、改善が必要な管理運営内容である。
②	総合評価	AA(優良)＝個別評価がすべてA以上であり、かつAAが過半数である。
		A(良好)＝個別評価がすべてA以上である。(上記以外)
		B(問題含)＝個別評価がすべてB以上であり、Bの割合が1割未満である。
		C(要改善)＝上記以外